



UKU WiFi/LOCAL

日本語 サウナコントロールシステム

3-24



IP67

UK
CA



info@huum.jp

www.huum.jp



MIX

Paper | Supporting
responsible forestry

FSC® C092678

UKU WiFi/LOCAL

サウナコントロールシステム 設置と取扱説明書

注意!電気工事に関する以下の指示は、認可された電気技師が行う必要があります。

注意!メインモジュールは、最大出力9,5kWまでのヒーターで使用できます。

注意!この器具は、身体的、感覚的、または精神的能力が低下している、もしくは経験と知識が不足している方(子供を含む)による使用を意図したものではありません。

注意!お子様が本製品で遊ばないように、監督してください。

機器一式には以下のものが含まれます。

- UKUコントロールパネル
- メインモジュール(175 x 250 x 75mm)
- 温度センサー
- ドアセンサー
- 温度およびドアセンサーケーブル (2 × 0,23mm²: 10m)
- UKUコントロールパネルケーブル (4 × 0,34mm²: 3m)

注意!本取扱説明書は、機器の近くに保管し、いつでも安全に関する情報や重要な使用方法を確認できるようにしてください。

設置の前に

- 設置前に取扱説明書をよくお読みください。すべての説明を理解していない場合は、機器を設置したり、メンテナンスを行わないでください。ご質問やご不明な点がありましたら、販売店または地元の販売代理店にご連絡ください。これにより、機器のすべての利点を活用し、故障を防ぐことができます。
- 本機器は、本説明書およびすべての現地の法律と規制に従って、厳密に設置およびメンテナンスを行う必要があります。サウナ設備の設置を開始する前に、必要な建築許可やその他の関連許可をすべて取得してください。
- 機器を設置またはメンテナンスするときは、回路からすべての電源を切る必要があります。
- 設置説明書に記載されていない特別な問題がある場合は、安全を確保するために、販売店または地元の販売代理店にご連絡ください。
- 制御機器を改造したり再構築したりすることは許可されていません。
- メーカーは、機器の改良を行う権利を有します。最新の取扱説明書は、ウェブページ (huum.jp) にてご確認ください。
- 供給導体が表を元々に適切なサイズであることを確認してください。新しいケーブルが推奨されます。専用回路に設置してください。
- UKUコントロールシステムにより、サウナの温度を40°Cから110°Cの間で設定できます。

設置説明書で使用されている記号：

警告!これらの指示に従わないと、財物破損や重傷または致命傷につながる可能性があります。
注意!また、各章に記載されている特別な安全要件にも従ってください。梱包材は、該当する廃棄規則および規制に従って廃棄してください。

説明書には、サウナの以下の詳細が番号で示されています。

- 1 UKU コントロールパネル
- 2 メインモジュール
- 3 ドアセンサー
- 4 温度センサー
- 5 ヒーター (別売)
- 6 気化器 (別売)
- 7 ライト (別売)

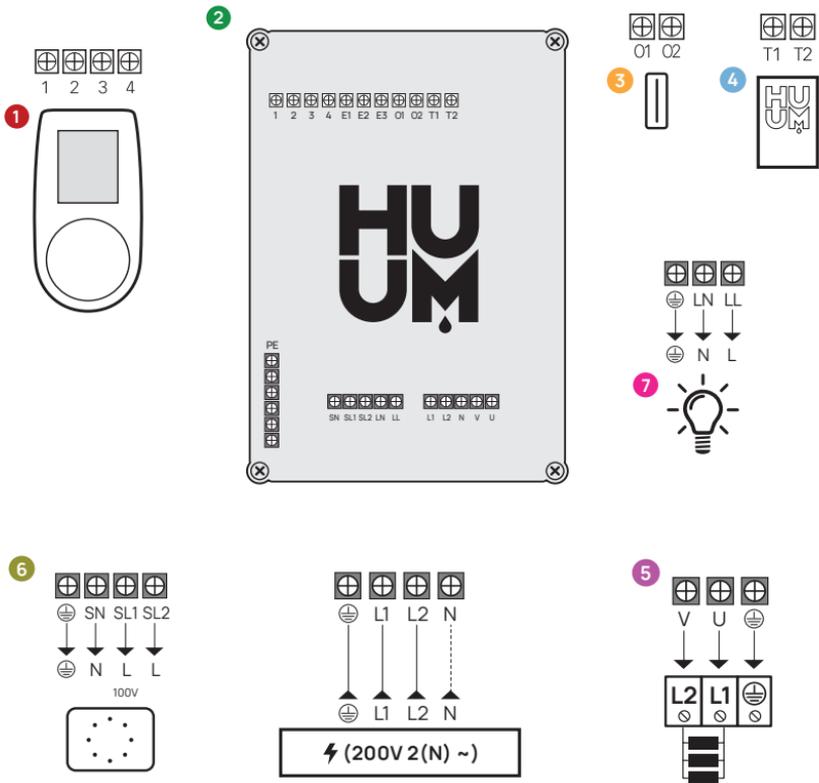
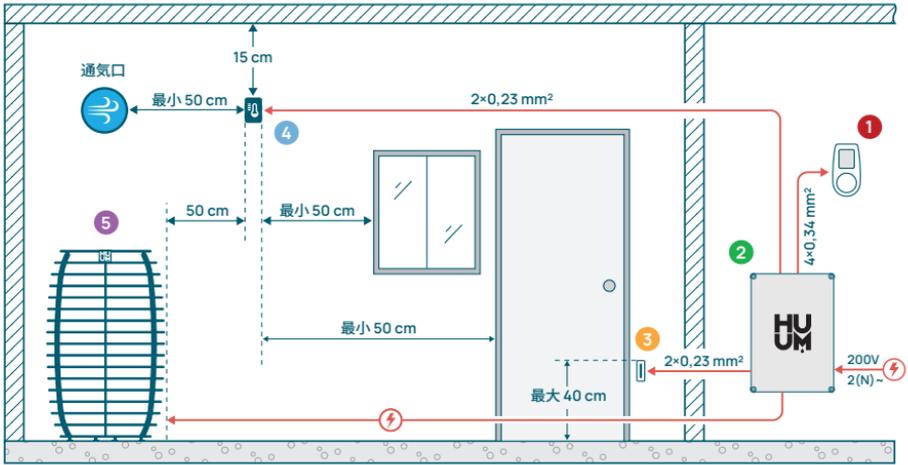


図1ヒーターの電気接続

装置の設置

- ・ 設置前に、電気ヒーターを電源から外します。
- ・ コントロールパネル ① サウナルームの外、ユーザーの目線の高さで
- ・ ドアのすぐ近くに設置する必要があります。
- ・ メインモジュールが ② WiFi接続に対応している場合、十分な受信環境が確保できる場所に設置する必要があります。
- ・ メインモジュールは、乾燥した場所に設置する必要があります。本機器の保護等級はIP67です。電源ケーブルは、付属のケーブルグラウンドを使用して固定する必要があります。
- ・ メインモジュールの損傷を防ぐために、室温は50°C、相対湿度は95%を超えてはなりません。
- ・ コントロールパネルの電源を入れる前に、内部に湿気が入らないように、メインモジュールが密閉されていることを確認してください。

注意!メインモジュールは、回路に常に接続されている必要があります。

すべての極を主電源から切り離すために、サーキットブレーカーを設置してください。

メインモジュールの電源ケーブルは、現地の法律および規制の要件を満たし、最低定格温度が60°Cである必要があります。

ケーブルの寸法はヒーターの出力に依存します。詳細については、ヒーターの説明書を参照してください。正しいケーブルのサイズは、必ず資格を持つ電気技師に承認してもらい、設置してもらってください。

注意!電源ケーブルの端を圧着する必要があります。

金属スリーブの圧着により、ワイヤーの繊維が所定の位置に保持され、接続の緩みを最小限に抑えることができ、これにより電気的な故障や安全上の危険を防止します。

注意!電源回路には、すべての極を電源から切断する方法(サーキットブレーカー)を設置する必要があります。

注意!ケーブルの長さを測定し、ケーブルと機器の各部品の位置を決定します(図1)。

コントロールパネル ①

警告!ネジ山を過剰に締め付けないように、ネジは手でのみ締めてください。電動ドライバーは使用しないでください。

- ・ コントロールパネルのケーブルは20mを超えないようにしてください。
- ・ コントロールパネルのケーブルは、高電流ケーブルと平行に配線しないでください

GLASSコントロールパネル

サウナルーム内にGLASSコントロールパネルを設置できます。この場合、ヒーターから離れた、床から最大1メートルの場所に設置してください。また、コントロールパネルは排気換気口から少なくとも50cm離れた場所に設置する必要があります。サウナのドアがある壁に排気口がある場合は、ドアの反対側にコントロールパネルを設置する必要があります。GLASSコントロールパネルは、壁に埋め込まれています。設置前に、ご希望の場所に65 x 105 x 27mmの大きさで壁に凹部を作ってください。

設置手順:

- ・ ガラスとコントロールパネルのボタンについている保護フィルムを取り外します。
- ・ ボタンを引き上げて外してから、ガラスを取り外します。ガラスは磁石で固定されています。
- ・ 番号に従ってケーブルを接続します。
- ・ 壁の材質に合わせて取り付けビスを選択してください。
- ・ コントロールパネルを壁に取り付けます。
- ・ ビス頭が出ていないことを確認し、ガラスを慎重にコントロールパネル本体に戻します。
- ・ ボタンを取り付けます

注意!ガラスコントロールパネルを取り付ける壁に、パネルの背面カバーにケーブルを固定するねじに接触する可能性のある導電性材料(金属絶縁材など)が含まれている場合は、短絡を防ぐためにネジ頭を絶縁テープで覆います。

サウナルームでは、構造や表面仕上げのためにコントロールパネルを埋め込むことができない場合は、コントロールパネル取り付けフレームを使用して壁に取り付けることができます。取付けフレームは追加製品であり、HUUMの販売代理店にお問い合わせいただけます。

木製ケース付きコントロールパネル

木製ケース付きのコントロールパネルは、サウナルーム内に設置することができますが、ヒーターから離れた場所に置く必要があり、上端は床から1メートル未満の高さに置く必要があります。さらに、コントロールパネルは、排気換気口から少なくとも50cm離れた場所に設置する必要があります。サウナのドアがある壁に排気口がある場合は、ドアの反対側にコントロールパネルを設置する必要があります。

- ・ UKUコントロールパネルの背面カバーを取り外し、壁に取り付けます。
- ・ 背面カバーを壁に取り付け、コントロールパネルの上端を目の高さに配置します。
- ・ 電源ケーブルを本機器のネジ端子に接続します。
- ・ すでに壁に設置されている背面カバーに本機器を固定します。
- ・ ネジを使用して側面から固定します。

CLASSICコントロールパネル

プラスチック製のコントロールパネルは、サウナルームの外に設置する必要があります。屋外に置く場合は、天候から保護するためにボックスで覆うことをお勧めします。

- 番号に従ってケーブルを接続します。
- 取付ねじ穴はコントロールパネルボタンの下に隠されています。ボタンをゆっくりと引っ張って取り外します。
- ねじを使ってコントロールパネルを壁に固定します。
- ボタンを再度取り付けます。メインモジュールは、最大9.5kWのヒーターで使用できます。より高出力のモデルの場合

メインモジュール ②

- 合は、エクステンションボックスを使用する必要があります。これに関する情報は、ウェブサイト(huum.jp)にてご確認くださいませ。
- メインモジュールは、サウナ/スチームルームの外に設置し、水や、雪、凝縮水との直接接触から保護するために、耐候性のあるケースに収める必要があります。メインモジュールは-40°Cの低温でも動作可能ですが、極端な温度ではディスプレイの動作が遅くなる可能性があることに注意してください。
- サウナルームの外に設置できない場合は、メインモジュールをサウナルーム内に取り付けることができます。10cm以上の高さに配置しないようにし、ヒーターからは少なくとも180cm以上離れている必要があります。サウナベンチの下に設置するのが理想的です。

メインモジュールの最大作業環境温度は50°Cです。

- メインモジュールを取り付けるときは、常にケースの蓋を開けることができるように設置してください。
- メインモジュールを天井や傾斜面に取り付けないでください。
- メインモジュールを壁に固定するためのネジ穴は、機器のカバーの固定ネジの下にあります。
- 4本のねじを使用して、メインモジュールを壁に垂直に固定し、ケーブルの開口部が下向きになるようにします。ねじは含まれていません。
- エンクロージャーとメインモジュールへのケーブルグランドを通して、UKUコントロールパネル、温度センサー、およびドアセンサーのケーブルを接続します。(図参照)
- 電源ケーブル(200V 2(N)~)を、ケーブルグランドを通してメインモジュールに接続します。

警告!ケーブルグランドを使用しない場合、機器のIPクラスは適用されません!

ドアセンサー 3

- ・ ドアセンサーキットには、センサー、磁石、および磁石固定テープが含まれています。
- ・ センサーとメインモジュール間のケーブルの長さは10mを超えてはなりません。
- ・ センサーはドアフレームのハンドル側に設置し、床から最大40cmの高さに設置します。それ以上の高さに設置すると、温度が磁石の性能や磁石テープの耐久性に影響を与える可能性があります。
- ・ ドアがドア内センサーの真横を通過することを必ず確認してください。
- ・ ドア枠に埋め込まれたドアセンサーを取り付ける場合は、直径5mmのドリルを使用してください。
- ・ 穴を開けてセンサーを取り付けます。
- ・ ケーブルをメインモジュールの端子O1とO2に接続します。
- ・ ケーブルのもう一方の端を、ドアセンサーに取り付けられたケーブルに接続します。
- ・ 付属の両面テープを使用して、ドアセンサーの磁石をドアに取り付けます。
- ・ ドアを閉めた際に、センサーと磁石はわずかにずれた状態を保ち、両者の距離が10mmを超えないようにします。



図2 ドアセンサーの配置。

過熱保護機能付き温度センサー 4

- 温度センサーとメインモジュール間のケーブルの長さは、10mを超えてはなりません。

注意!温度センサーは、ヒーターの上ではなく、ヒーターの外縁から50cm離れた場所に配置してください。

- 温度センサーは、天井から15cm離れている必要があります。
- 温度センサーは、スチームルームや空気開口部（換気口、ドア、窓）の角から少なくとも50cm離す必要があります。
- 部屋の大きさや構造上、上記の距離でセンサーを壁に配置できない場合は、センサーを天井に取り付ける必要があります。センサーは、**ヒーターの端から50cm離れた場所に配置し、天井の最も高い位置に設置する必要があります。**天井に温度センサーを取り付ける場合は、温度センサーのケーブル（UKUキットに付属）を、サウナの天井板の後ろから配線する必要があります。ケーブルを外部に配線する場合は、スラットなどで紫外線や外部天候の影響から保護する必要があります。
- ケーブルをメインモジュールの端子T1とT2、および温度センサー内の端子1と2に接続します。
- 温度センサーは、裏面ケースと前面ケースの2つの部分で構成されています。裏側を2本のねじで壁に取り付け、まっすぐになっていることを確認します。
- 右の図のように前の部分を取り付けます。

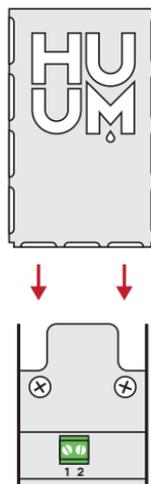
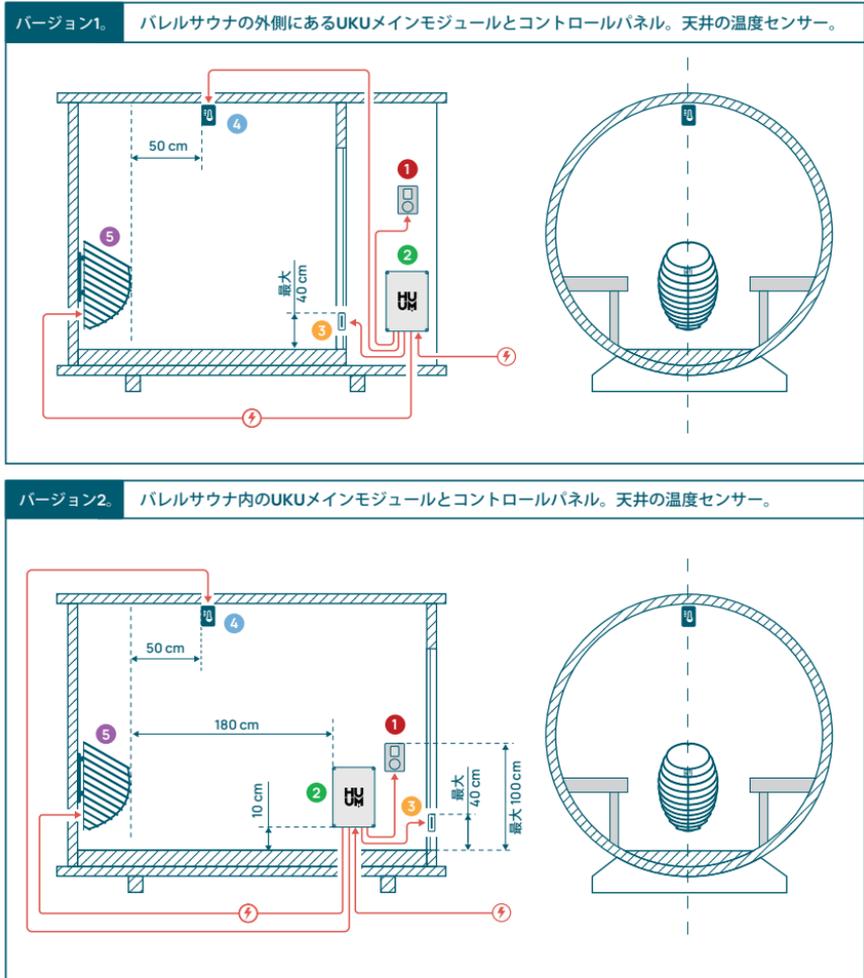


図3温度センサー

バレルサウナにおける設置

部屋の大きさや構造上、上記の距離でセンサーを壁に配置できない場合は、センサーを天井に取り付ける必要があります。センサーは、**ヒーターの端から50cm離れた場所に配置し、天井の最も高い位置に設置する**必要があります。天井に温度センサーを取り付ける場合、温度センサーのケーブル(UKUキットに付属)はサウナバレルの天井板の後ろから配線する必要があります。ケーブルを外部に配線する場合は、スラットなどで紫外線や外部天候の影響から保護する必要があります。



スチーマー 6

- スチーマーの最大出力は次のとおりです。
 - 1000W, 200V/ 50/60Hz;
 - 2000W, 200V/ 50/60Hz.
- SL(相)SN(中性)をスチーマーの出力に接続します。接続するには、**図1**を参照してください。
- スチーマーを接続した後、コントロールパネルの設定でスチーマー機能をオンにします。操作マニュアルの18ページにある「**湿度設定**」セクションをご参照ください。

注意!スチーマー機能を備えた電気ヒーターでコントロールシステムを接続する場合は、常に水タンクに水が満たされていることを確認してください。水タンクが空の場合、スチーマー機能が無効になり、発熱体が焼損する恐れがあります。

注意!スチーマーは、目標温度が90°Cを超える設定では使用できません。

換気機器/ランプ 7

- メインモジュールのLL(相)LN(中性)端子にランプや換気機器を接続することができます。接続するには、**図1**を参照してください。
- 白熱灯/換気機器の最大電力は100V 80Wであり、LEDライトの場合は100V 40Wです。
- 機器を接続した後、コントロールパネルの設定で「**通気口/ランプ**」機能をオンにしてください。取扱説明書の16ページの該当箇所を参照してください。
- ランプまたは換気機器が接続されており、対応する機能がメニューで有効になっている場合は、コントロールパネルを使用して接続されている機器のオン/オフを切り替えることができます。

UKU WiFi コントローラーのネットワーク接続

- WiFiモデルは802.11b/g/n規格に準拠しています。
 - メインモジュールは2.4GHz Wi-Fiネットワークのみに対応しています。
 - UKUは、専用の2.4GHz WiFiネットワークに接続する必要があります。ネットワークの名前が5GHzまたは6GHzネットワークの名前と一致する場合は、変更する必要があります。
- 注意!**メインモジュールは、20文字を超えるWiFiネットワーク名およびパスワードには対応していません。
- コントロールパネルのメニュー設定を入力するには、パネルボタンを9秒間長押しします。
 - 「WiFi設定」に進み、そこから「SSID」を選択します。ボタンをクリックすると、オプションを確認できます。

- ・ 開いたメニューから、サウナコントロールシステムを接続したいWiFiネットワークを選択してください。
- ・ WiFiネットワークを選択したら、パスワードを入力してください。
- ・ パスワードを入力したら、「接続」をクリックし、画面の指示に従ってください。
- ・ サウナをモバイルアプリに接続する方法については、取扱説明書13ページの「HUUMモバイルアプリ」の章に記載されています。
- ・ コントロールシステムをWi-Fiネットワークに接続する際に問題が発生した場合は、動画による手順や迅速なサポートをhuum.jpにてご確認ください。

HUUMモバイルアプリ

UKU WiFiは、専用のHUUMモバイルアプリを使用して、コントロールパネルまたはスマートフォンから操作できます。この機能により、ユーザーは自宅から離れていても、リモートでサウナを操作できます。

お使いの携帯電話のオペレーティングシステムのアプリページから、HUUMアプリをダウンロードします。



- ・ アプリでユーザーアカウントを作成します。
- ・ コントロールシステムID(2XXXXX)をアカウントに接続します。コントロールシステムのIDはサウナのIDでもあり、メインモジュールカバーの右上隅にあるステッカーに記載されています。コードはカバーにも記載されています。
- ・ モバイルアプリの機能(サウナの温度と加熱時間の設定、加熱のオン/オフなど)が正常に機能し、サウナに届くかどうか確認してください。機能は、メニューでコマンドを選択してから**60秒**以内に開始されるべきです。モバイルアプリの機能が有効になっていない場合は、以下にお問い合わせください。support@huum.eu
- ・ 1つのサウナにリンクされているユーザーアカウントの数に制限はありません。

UKUローカルコントロールシステムにWiFi機能を追加する方法

UKUローカルコントロールシステムを購入したが、WiFi機能を追加したい場合は、HUUMモバイルアプリ上で行うことができます。アップグレードはリモートで有効化され、追加料金が発生しますが、現地での技術者は必要ありません。

- これを行うには、HUUMモバイルアプリをダウンロードし、ユーザーアカウントを作成してサウナIDにリンクさせてください(前のセクション「HUUMモバイルアプリ」を参照)。
- モバイルアプリから詳細な手順を入手できます。

テスト

注意!テストは必ず認定を受けた電気技師が実施してください!

警告!電源が入った状態でテストを実施する必要があります。感電の危険があります!

警告!テストを開始する前に、ヒーターがメーカーの指示に従って設置されていることを確認してください。

1. サーキットブレーカーとメインモジュールの電源端子の確認。

接続不良は火災の原因となる可能性があります。サーキットブレーカーを使用して、配電盤から電源を入れます。画面が一瞬点滅します。機器の使用準備が整いました。

2. 温度センサーの確認

- コントロールパネルの画面に「温度センサーエラー!」というエラーメッセージが表示された場合は、センサー側とメインモジュール側の両方の温度センサーケーブル接続を確認してください。エラーメッセージが消えない場合は、温度センサーのテストを行う必要があります。テストを行うために、短いワイヤでメインモジュールに接続し、不良ワイヤを除外します。それでも同じエラーメッセージが表示された場合は、次のテスト方法に進んでください。最も徹底した最終テスト方法は、温度センサーの抵抗を測定することです。20°Cでの抵抗値は約1.1kΩでなければなりません。抵抗値が正しい場合は、ケーブルまたは接続部に不具合があります。抵抗がない場合は、センサーが損傷しており、交換する必要があります。センサーの交換については、HUUMコントロールシステムを販売した販売会社または現地販売代理店にお問い合わせください。
- その他の方法でテストを行う場合は、サウナのサーキットブレーカーを1分間オフにしてから再度オンにしてください。コントロールパネルはオフになり、再度オンにしたときに現在の温度が表示されるはずですが、

- ・ サウナの目標温度を50°Cに調整します。サウナをオンにします。サウナがご希望の温度に達したことをコントロールパネル示している場合は、30分後にご希望の温度が著しく変化していないことを確認してください。加熱をオフにします。

3. ドアセンサーの確認

スチームルームのドアを閉めます。コントローラーの電源を入れ、温度を設定します。加熱をオンにします。ヒーターが加熱を開始し、加熱エレメントが赤く光り始めます。リレーが作動するはずですが、スチームルームのドアを開けます。リレーは5~10秒以内に切断され、画面に「**ドアが開いています**」というメッセージが表示されます。ドアを閉めます。リレーが再度作動し、メッセージが消え、加熱が続きます。

コントロールパネルユーザーマニュアル

- ・ 使用する前に、コントロールシステムモデルに応じた必要な接続が行われていることを確認してください。(12ページの「**UKU WiFiコントロールシステムをネットワークに接続する**」をご参照ください。)
- ・ ボタンを短く1回押すと、コントロールパネルがオンになり、加熱が開始または停止します。ディスプレイは加熱の間、常に表示されます。
- ・ ヒーターの最大加熱時間は、壁面のコントロールパネルのメニューで設定できます。プライベートサウナの場合、加熱時間は**3時間**または**6時間**を選択できます。セミパブリックサウナの場合は**12時間**、パブリックサウナの場合は**18時間**です。モバイルアプリを使用すると、自分で加熱時間を選択できますが、その長さはコントロールパネルの設定を超えることはできません。
- ・ 現在のサウナの温度は画面中央に表示されます。
- ・ 目標のサウナの温度は、画面の右上隅に表示される数字で示されます。ボタンを回して目標温度を選択します。
- ・ ボタンを押して加熱を開始します。加熱中は、画面上の温度の上に加熱記号()が表示されます。
- ・ コントロールパネルの設定メニューに入るには、ボタンを**9秒間**長押しします。
- ・ 各機能の「**戻る**」を選択してメニューを終了します。

加熱のタイミング

- ・ UKUコントロールシステムを使用すると、加熱の開始をスケジュールすることができます。
- ・ タイマー機能を有効にするには、ボタンを**6秒間**長押ししてください。
- ・ ご希望の時間を選択すると、ボタンを1回短く押すだけでタイマーがオンになります。ボタンを押さないとタイマー機能は作動しません!
- ・ 画面にタイムラインが表示され、ヒーターがオンになるまでの残り時間が表示されます。

コントロールパネル設定メニュー

メニューでは、以下のパラメーターを設定できます。

WiFi 設定 - WiFi設定の変更、適切なネットワークの選択および接続。

- ボタンを**9秒間**長押しすると、コントロールパネルの設定メニューに入ります。
- 「**WiFi設定**」オプションに移動します。WiFiネットワークの選択および接続における必要な手順については、12ページの「**UKU WiFiコントロールシステムをネットワークに接続する**」セクションに記載されています。

ランプ設定 - コントロールシステムに接続された機器（換気口、サウナランプなど）を操作するための設定。

1. 通気口/ランプ

- コントロールパネルからコントロールシステムに接続されている機器を操作するには、この機能をオン（オン）にする必要があります。
- ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- メニューから「**照明：オン/オフ**」機能を見つけて、ご自身に適した設定を選択してください。
- この機能が有効になっている場合は、コントロールパネルの**ボタンを素早く2回押す**ことで、関連する機器のオン/オフを切り替えることができます。

2. ドアスイッチ

この機能が有効になっている場合、サウナドアを開くと、コントロールシステムに接続されている機器（換気口、サウナランプなど）が自動的にオンになり、ユーザーが設定した時間（10、15、または20分間）だけ動作します。

- ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- メニューの「**ドアスイッチ**」機能を見つけ、**10分、15分、または20分**の適切な時間を選択してください。

注意!本機器は、UKUコントロールシステムのメインモジュールの出力LL（相）LN（中性）に接続されています。本機器の最大出力は80W、電圧は100V/50/60Hzです。

加熱設定 - ヒーターの加熱設定。

1. 温度単位

- この機能を使用すると、サウナの温度を表示する単位を選択できます。
°C(摂氏)または°F(華氏)。
- ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- メニュー内で「**温度単位**」機能を見つけ、適切な単位を選択します。

2. 加熱時間

- 加熱時間を設定すると、設定した時間後にコントロールシステムが自動的にヒーターをオフにします。
- ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- メニュー内で「**ヒーティングタイム**」機能を見つけ、サウナの種類に応じて加熱時間を設定します。
 - **プライベートサウナ 3時間または6時間**
 - **セミパブリックサウナ 12時間**
 - **パブリックサウナ 18時間**
- ローカルコントロールパネルを使用する場合、ヒーターは設定された加熱時間に従いますが、ユーザーは早めに加熱を停止することもできます。
- 加熱時間を**6時間**(プライベートサウナの最大加熱時間)以上に変更する場合、ユーザーは**セミパブリックサウナ**(最大加熱時間12時間)または**パブリックサウナ**(最大加熱時間18時間)であることを確認する必要があります。

3. 最高温度/最低温度

- この機能を使用すると、サウナの最低および最高温度範囲を設定できます。
- デフォルトでは、**最低40°C**、**最高110°C**に設定されています。
- ボタンを**9秒間**長押しすると、設定メニューに入ります。
- メニュー内で「**ヒーティングタイム**」機能を見つけ、適切な温度を選択します。
- 同様に「**最高温度**」も設定します。

注意!コントロールパネルメニューで設定された制限は、モバイルアプリでは変更できません。

湿度設定 - サウナスチーマー設定。

1. スチーマー

- ・ コントロールパネルからコントロールシステムに接続されているスチーマーを操作するには、この機能を有効(オン)にする必要があります。
- ・ デフォルト設定では、この機能は有効になっています。無効にしたい場合は、以下の手順に従ってください。
- ・ ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- ・ メニュー内で「**スチーマー: オン/オフ**」機能を見つけ、適切な選択を行います。
- ・ サウナの湿度レベルを調整するには、ボタンを押し下げて**右(高湿度)**または**左(低湿度)**に回します。この選択は、コントロールパネルのメイン画面で行うことができます。
- ・ スチーマーの強度は、画面の左下隅に表示されます(例:0~99の範囲)。
- ・ スチーマーは、サウナが加熱モードの場合にのみ動作します。

コントロールシステムは数式を使用して蒸気発生器を制御するため、サウナの実際の湿度はサウナの特性によって異なる場合があります。

注意!スチーマーは、ヒーターを起動させた直後ではなく、目標温度に達する直前に起動します。これにより、加熱時間が短縮されます。詳細については、「湿度開始温度」をご参照ください

注意!設定温度が90°Cを超えると、スチーマー機能は自動的に無効になります。

湿度開始温度

目標温度に達する前に、蒸発器が動作を開始する温度を設定します。

デフォルト:10°C。可能な範囲:0~20°C。0を選択すると、蒸気発生器はサウナが目標温度に達した時点で動作を開始します。

- ・ ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- ・ 「**スチーマー設定**」を見つけます。
- ・ メニュー内で「**湿度開始温度**」機能を見つけ、適切な温度を選択します。
ノブを回して選択を行い、ボタンを押して選択を確定します。

湿度表示型式

- ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- 「**スチーマー設定**」を見つけます。
- メニューで「**湿度フォーマット**」機能を見つけ、クリックしてご希望のスタイルを選択します。次の2つのオプションから選択できます。「**許容最大値%**」および「**相対湿度%**」。選択するには、ボタンを押します。

最大許容%

- 指定された目標温度で相対湿度の最大許容%を設定できます。サウナ内の最大相対湿度は規格により定められています。

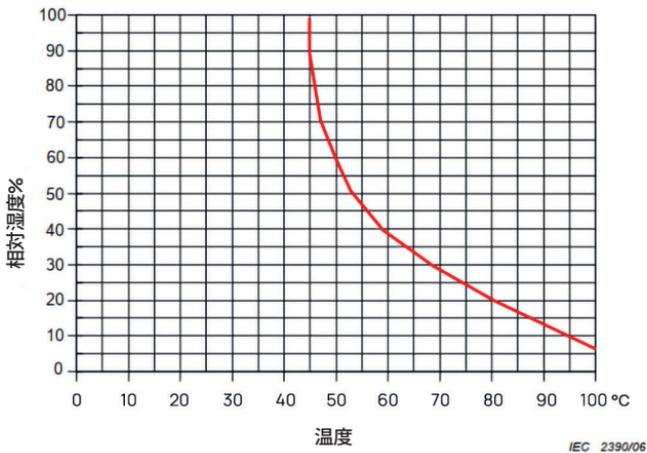


図5 通常動作中の温度/相対湿度特性。

相対湿度%

サウナの相対湿度を選択できます。サウナ内の最大相対湿度は規格で定められており、目標温度によって異なります。温度が高いほど、サウナ内の許容相対湿度は低くなります。添付の表をご参照ください。

2. スチーマーの安全

- この機能は、スチーマーの水がなくなったときに通知します。
- デフォルト設定では、この機能は有効になっています。無効にしたい場合は、以下の手順に従ってください。
- ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- メニューから「スチーマーの安全:オン/オフ」機能を見つけ、適切な選択を行います。
- メインモジュールが水がなくなったことを検出すると、スチーマーはオフになります。
- スチーマーに水位センサーが内蔵されている場合は、設定を使用する必要はありません。

安全設定 - サウナの安全な使用設定。

1. 遠隔スタートの安全

遠隔での加熱開始におけるサウナの安全性を確認するには、以下の手順に従ってください。

- サウナのドアを開めます (サウナ内にコントロールパネルが設置されている場合でも、以下の手順に従ってください。確認が完了したら、15秒以内にサウナを出てドアを閉めてください)。
- 安全確認プロンプトが表示されるまで、コントロールパネルボタンを**3秒間**長押しします。
- 「はい」と答えると、(携帯のアプリから)遠隔起動が有効になります。コントロールパネル画面上の3つの灰色の点(●●●)で示されています。
- 応答しない場合、または応答が「いいえ」の場合、携帯電話から加熱を開始することはできません。
- サウナの安全性を確認したら、誰かが再びドアを開けるまで安全と見なされます。ドアが開かれた場合は、アプリからサウナを開始する前に遠隔起動が無効になり、上記の手順を繰り返す必要があります。

注意!設定メニューでは、コントロールパネルの遠隔起動確認をオフにすることができます。この場合、コントロールパネル上でサウナの安全確認を行うことなく、サウナを(携帯のアプリから)遠隔起動することができます。これを行いたい場合は、以下の手順に従ってください。テスト確認をオフにすると、サウナの安全確認なしで、サウナをリモートで開始することができます。その結果、物的損害や重傷者、死傷者が出る可能性があります。

- ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- 「**安全設定**」に移動します。
- 「**遠隔スタートの安全機能:有効/無効**」機能を見つけます。
- 「**無効**」を選択します。

2. 過熱一時停止 オン/オフ

サウナコントロールシステムには、加熱中に強制的に一時停止する仕組みがあります。この一時停止アルゴリズムは、サウナルームに対してヒーターの出力が不十分であったり、換気が正しく行われておらず、ヒーターが連続して最大出力で動作する場合に対処します。これらの一時停止を実装することにより、システムはヒーター周辺の表面を過熱するリスクを軽減します。

一時停止ロジック:

1. 90分間の加熱。
2. 10分間の一時停止。
3. さらに10分間の一時停止、または一時停止開始から温度が10度下がるまでの一時停止。
4. 45分間の加熱。
5. 10分間の一時停止。
6. さらに5分間の一時停止、または一時停止開始から温度が10度下がるまでの一時停止。
7. 手順4~6を繰り返します。
8. ご希望の温度に達すると、ロジックは停止します。

一時停止機能を無効にしたい場合:

- ボタンを**9秒間**長押ししてメニューに入ります。
- 「**安全設定**」に移動します。
- 「**一時停止**」へ進み、「**オフ**」を選択します

故障検出

異常な加熱動作が検出されたときに、ヒーターを停止させるロジックをオン/オフにします。ロジック- 加熱後60分以内に温度が30°C上昇しない場合、ヒーターは停止します。これは、加熱開始時にサウナの初期温度が40°C未満の場合にのみ機能します。

チャイルドロック

- ・ チャイルドロック機能は、セキュリティを強化し、監督なしにヒーターを操作されるのを防ぎます。
- ・ メニューに入るには、コントロールパネルのボタンを**9秒間**長押しします。
- ・ 「安全設定」に移動します。
- ・ メニューから「チャイルドロック:オン/オフ」機能を見つけ、適切な選択を行います。
- ・ この機能が有効になっている場合は、コントロールパネルの画面が消えると、チャイルドロックが自動的に適用されます。
- ・ チャイルドロックを解除して画面を有効にするには、ボタンを押しながら、**右に90度回し、最初の位置に戻した後、左に90度回し、また最初の位置に戻します。**

設定パスワード

- ・ 必要に応じて、パスワードで設定メニューを保護することができます。
- ・ 機能をオンにして、設定メニューでパスワードを設定することができます。
- ・ メニューに入るには、コントロールパネルのボタンを**9秒間**長押しします。
- ・ 「安全設定」に移動します。
- ・ メニューで「設定パスワード:オン/オフ」機能を見つけ、適切に選択します。
- ・ パスワードを設定します。
- ・ 機能がオンになっている場合は、メニューに入るたびにパスワードの入力が求められます。デフォルトでは、この機能はオフになっています。

注意!パスワードを設定したら、安全に保管してください。パスワードを忘れた場合や紛失した場合は、以下のユーザーサポートにお問い合わせください。

support@huum.eu

モバイルアプリの使用

- HUUMモバイルアプリを携帯電話にダウンロードできます。



- ユーザーアカウントを作成し、サウナをアプリに接続する方法については、13ページの「HUUMモバイルアプリ」のセクションをご参照ください。
- HUUMモバイルアプリでは、以下の操作が可能です。
 - ご希望のサウナの温度と加熱時間の設定（最後の設定はメモリに残ります）。
 - サウナのオンとオフの切り替え。
 - サウナスチーマーと照明機能の制御。
 - 目標温度に達し、サウナの準備ができた際の通知の受信。
 - 最大2か月先までのサウナ加熱時間の設定
- 操作の説明は、アプリ内に表示されます。ボタン(!)は詳細な追加情報を提供します。

ユーザーに向けた一般的な安全情報

- すべての付属センサーは、コントロールシステムに取り付けられている必要があります。
- 安全装置が130°Cで作動した場合は、サウナを点検し、安全性を確保する必要があります。過熱保護が有効になると、画面に「**温度センサーエラー**」というエラーメッセージが表示されます。安全装置が作動した場合は、温度センサーが恒久的に故障していることを示します。交換用の温度センサーについては、販売会社または現地販売代理店にお問い合わせください。
- 機器の改造または再構築は許可されていません。
- 本マニュアルに記載されていない問題が発生した場合は、機器を購入した販売会社または現地販売代理店にサポートを依頼してください。
- メーカーは、機器のソフトウェアを更新する権利を有します。最新版の取扱説明書は、当社のウェブサイト(huum.jp)でご覧いただけます。

使用目的

- 加熱する前に、必ずヒーターの上に物が無いことを確認してください。不燃物でも、過熱や火災の危険を引き起こす可能性があります。
- サウナルームが安全であることを確認したら、サウナルームのドアを閉めてください。ドアを開けたままの加熱は効果がないため、加熱中は閉じたままにする必要があります。熱がサウナルームから逃げてしまいます。
- リモートコントロールを使用するには、ヒーターが正常に動作しており、上に物が無いことを事前に確認してください。「遠隔スタート安全機能」が有効になっている場合(20ページ)は、安全プロンプトを確認してください。また、サウナルームのドアが閉まっていることを確認してください。
- 本機器は、身体的、感覚的または精神的能力が限られている人(子供を含む)や、経験および/または知識が不足している人による使用を意図していません。
- お子様の本機器で遊ばないようにしてください。
- 使用を長期間中断する場合は、配電盤でサウナの電流保護をオフにしてください。
- 古い機器には、リサイクル可能な素材が含まれています。古い機器は家庭ごみとして捨てず、お住まいの地域または地方自治体のごみ中継所で機器を処分できるかどうかを調べてください。

保証

一般利用規約は、当社のウェブページhuum.jp/warrantyでご覧いただけます。



最新の素材については、以下のメーカーのウェブサイトにてご確認ください。
www.huum.jp



✖

© All rights reserved HUUM OÜ 2025

**HU
UM**

 **OF SAUNA**



#huumsauna



www.huum.jp